

1999 年 6 月の東北地方の天候(速報)

【 6 月の特徴 】

- ・ 高温傾向が持続
- ・ 月末に梅雨前線の活動が活発化し大雨

(1) 概況

月の前半は、低気圧や高気圧が交互に通じ、天気は周期的に変化した。月の後半は、南部を中心に梅雨前線の影響を受けることが多く、天気はぐずつした。特に、30 日には梅雨前線の活動が活発化したため、太平洋側を中心に大雨となり、各地で被害が発生した。

月平均気温は、東北地方全域で平年よりやや高く、4 月中旬からの高温傾向が持続した。(図 2 参照)

仙台管区气象台は、「東北地方は北部・南部共に 6 月 7 日頃梅雨入りしたとみられる。」と発表した。

気温はやや高い。降水量は北部で平年並、南部でかなり多い。日照時間は平年並。

(2) 天候経過

上旬： 北部では、期間の初め移動性高気圧に覆われ晴れたが、3 日以降は日本海を通過する低気圧や上空の寒気の影響を受け天気がぐずつき、8 日と 9 日には雷雨となるところもあった。南部では、天気は周期的に変化した。天気のくずれは小さく晴れの日が多かった。

気温は北部で平年並、南部でやや高い。降水量は日本海側で平年並、太平洋側でやや少ない。日照時間は北部で平年並、南部でやや多い。

中旬： 前半は、移動性高気圧に覆われ全般に晴れる日が多かった。後半は、南部では梅雨前線の影響で曇りや雨のところが多かった。一方、北部では移動性高気圧に覆われ、晴れまたは曇りの所が多かった。

気温は北部でかなり高く、南部でやや高い。降水量は北部でかなり少なく、南部でかなり多い。日照時間は北部でやや多く、南部でやや少ない。

下旬： 期間の初めは移動性高気圧に覆われ、晴れるところが多かった。24 日以降は、南部を中心に梅雨前線の影響を受けやすく、曇りや雨のところが多かった。特に、30 日には梅雨前線の活動が活発化したため、太平洋側を中心に大雨となり、各地で土砂崩れや家屋への浸水等、被害が発生した。30 日の各地の雨量は、白河で 119.5mm、福島で 116.0mm、大船渡で 108.0mm、仙台で 107.0mm に達した。

気温は北部でやや高く、南部で平年並。降水量は日本海側で平年並、太平洋側でかなり多い。日照時間は平年並。

(3) 極値・順位の更新

(3 位まで。但し白河の降水量は統計期間が短いため、1 位に該当した場合のみ示す。)

< 月降水量の多い値 >

1 位 白河 277.0mm

表 1 . 月気候値表 (1999 年 6 月)

地 点	月平均気温(平年差)			月降水量(平年比)			月間日照時間(平年比)		
			階級	mm	%	階級	h	%	階級
青 森	18.6	(+1.8)	かなり高い	42.0	(49)	かなり少ない	196.8	(106)	平年並
深 浦	18.0	(+0.8)	やや高い	41.5	(38)	かなり少ない	211.8	(117)	やや多い
む つ	17.2	(+1.6)	やや高い	103.5	(98)	平年並	187.6	(107)	平年並
八 戸	18.1	(+1.9)	かなり高い	80.0	(88)	平年並	196.6	(112)	やや多い
秋 田	19.7	(+1.1)	やや高い	97.0	(83)	平年並	197.6	(109)	平年並
盛 岡	19.2	(+1.2)	やや高い	125.5	(111)	平年並	175.4	(107)	平年並
宮 古	17.5	(+1.3)	やや高い	187.0	(173)	やや多い	155.1	(104)	平年並
大船渡	18.2	(+0.9)	やや高い	288.0	(187)	かなり多い	156.7	(96)	平年並
山 形	20.0	(+0.6)	やや高い	195.0	(194)	かなり多い	165.2	(103)	平年並
新 庄	19.0	(+0.3)	---	144.5	(114)	---	151.2	(99)	---
酒 田	20.0	(+0.7)	---	135.5	(112)	---	185.7	(101)	---
仙 台	19.7	(+1.4)	やや高い	245.0	(184)	かなり多い	158.5	(116)	やや多い
石 巻	18.7	(+1.0)	やや高い	221.5	(204)	かなり多い	174.2	(113)	平年並
福 島	20.7	(+0.8)	やや高い	228.0	(195)	かなり多い	140.7	(100)	平年並
白 河	19.1	(+0.8)	やや高い	277.0	(***)	---	135.3	(103)	平年並
小名浜	19.8	(+1.6)	かなり高い	251.5	(161)	かなり多い	151.6	(105)	平年並
若 松	20.3	(+0.6)	やや高い	116.0	(98)	平年並	161.7	(101)	平年並

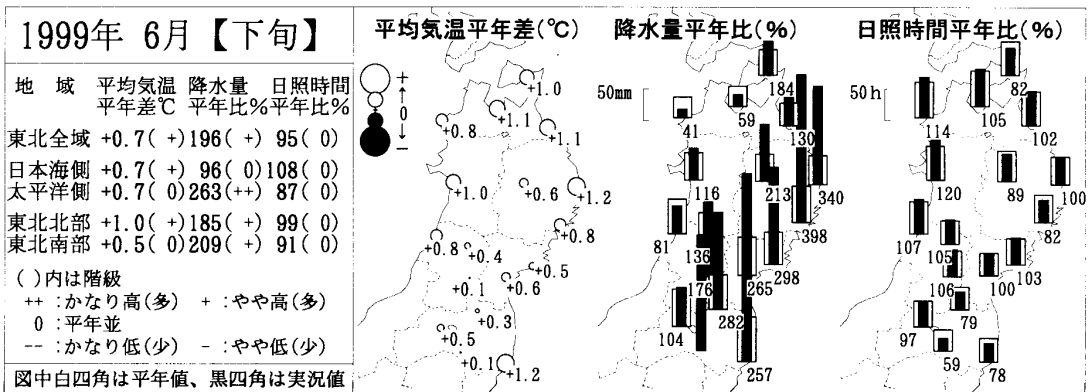
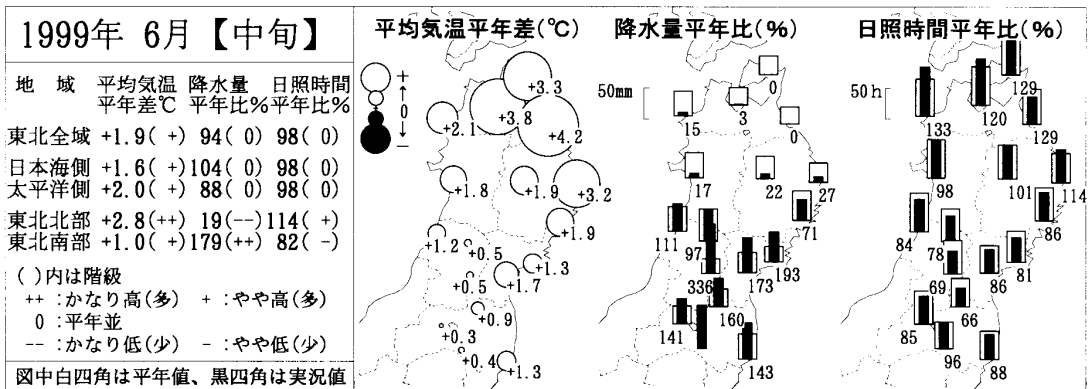
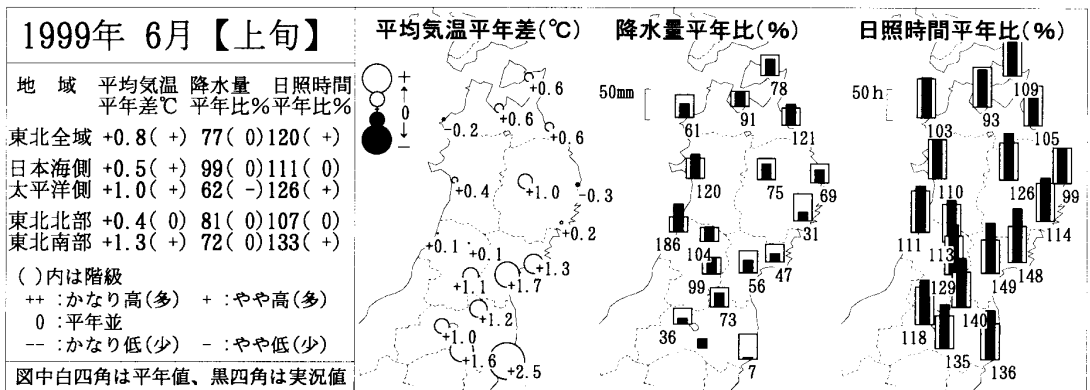
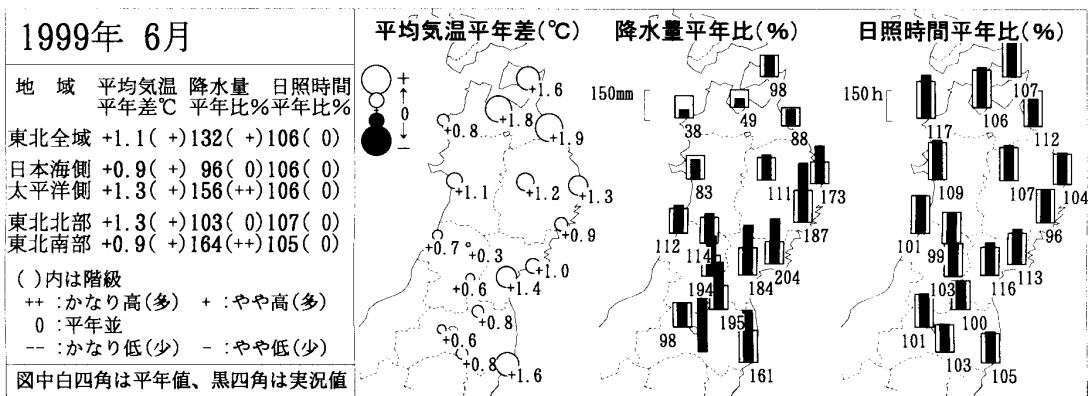
× : 欠測) : 欠測日を含む - : 現象なし *** : 統計期間が 8 年に満たないため平年値がない。

--- : 統計期間が 24 年に満たないため階級区分値がない。

(酒田は準平年値(1971～1990 年)、新庄は累年平均値(1986～1996 年)との差(比)を示す)。

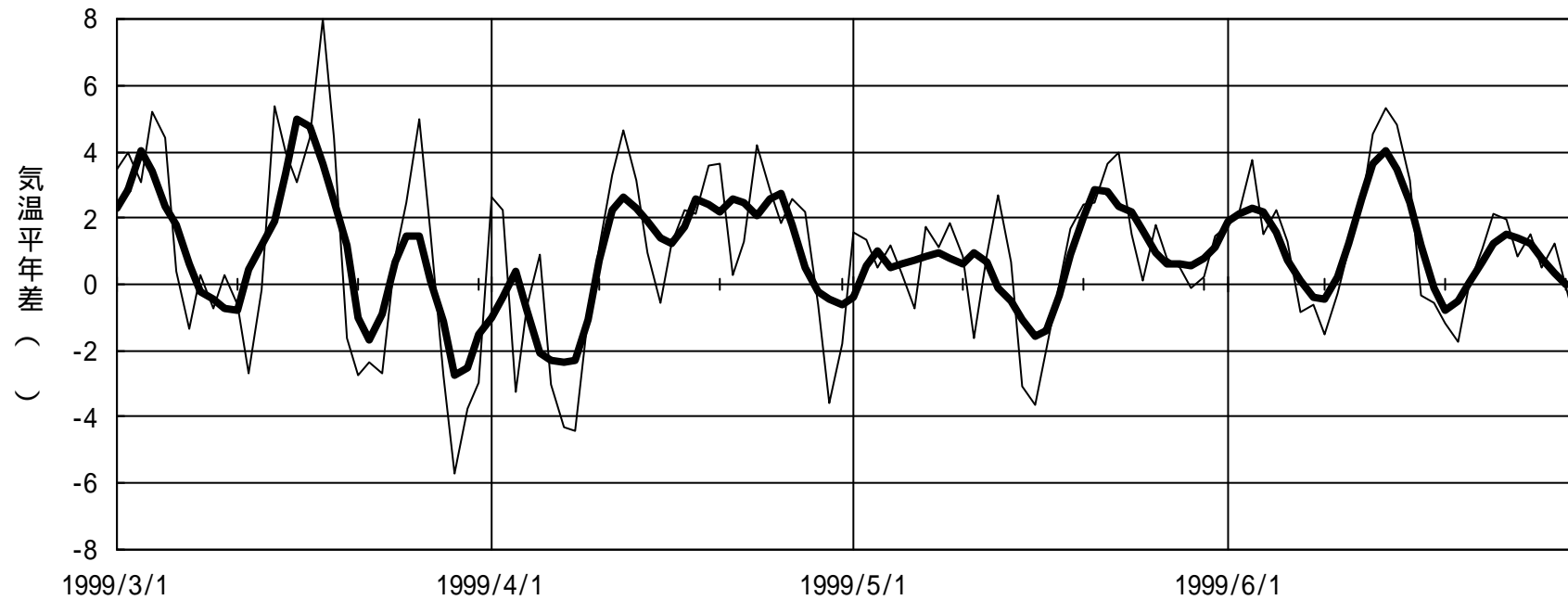
階級は「かなり低い(少ない)」「やや低い(少ない)」「平年並」「やや高い(多い)」「かなり高い(多い)」の 5 階級に区分されています。それぞれの階級幅は、1961～90 年の 30 年間に於いて出現した値を小さいほうから、10%(3 個)、20%(6 個)、40%(12 個)、20%(6 個)、10%(3 個)に区分し、階級の境界値は下位の階級の最大値と上位の階級の最小値を平均した値としています。統計年数が 24 年以上 30 年未満の場合についても同様の割合で区分されていますが、24 年未満の場合には階級区分がありません。

図1 . 1999 年 6 月の月、旬平均（合計）値の平年差（比）



平年値の統計期間は1961～'90年。但し酒田は準平年値(1971～'90年)、新庄は累年平均値(1986～'96年)を使用。白河の降水量は統計期間が短く、平年値が無いので実況値を表す黒四角のみ表示する。

図 2 .東北地方地域平均気温平年差



東北地方地域平均気温平年差の1999年3月1日から6月30日までの時系列図です。
図中、細線は日々の平均気温平年差、太線は5日移動平均の平均気温平年差です。
平均気温は、3月下旬から4月上旬にかけては平年を下回る時期がありましたが、その後は平年を下回ることがあっても長続きせず、ほぼ平年並から高めで推移し、4月中旬以降は傾向的に高温が続いているといえます。